未来プロセス通信

2019 年 7 月 発行 Vol.12

希少動物保護に向け、第 3 回マレーシア植林活動研修に取り組みました

ボルネオオランウータン

6 月 15 日（土）から 19 日（水）の 5 日間、「マレーシア植林活動研修」のため、この活動をご指導いただいている京都大学霊長類研究所 湯本 貴和 所長とグループ職員９名のチームが現地（ボルネオ島 サバ州スカウ村）に入りました。サバ州には、オランウータン、ツノサイチョウをはじめとする多種のサイチョウ、ボルネオ島でしか出会えないテングザル、世界最小のボルネオゾウなど絶滅を危惧されている希少動物が多く生息しています。ＮＰＯ法人未来プロセスでは、４年前から希少動物の保護を目指し、女性の社会進出、環境保全のための地域社会への教育プログラム等に取り組むＮＧＯ（非政府組織）ＨＵＴＡＮを寄付を通して支援しており、今回３回目の現地活動を行いました。

木々を渡るテングザル

シロハラウミワシ

私達の活動は、現地の多くの方に支えられています。

２年前に植林した木

HUTAN の代表イザベル・ラックマン博士と、今回お会いできたマーク・アンクレナッツ博士、オランウータン研究チームのリーダー ミスリンさんとチームメンバー、教育チームのリーダー アバン･マネジャー、植林チームの女性スタッフなどのＨＵＴＡＮスタッフ。現地でのコーディネートや移動などサポートしてくれるボルネオトレイルの坪根さんとロッジスタッフの皆さん。そして、今回初めて訪問した「パーム油産業と動植物の多様性保存の共存」に取り組むムランキン・オイルパームプランテーションのシャフィーク・マネジャーと職員の皆さん。多くの方の活動を知り、参加することで私達に何ができるか？を、一緒に汗を流しながら考えています。

２年前に私たちが植林した木々は、現地 HUTAN 女性スタッフに見守られながら大きく成長し、花をつけるまでになり、少しずつですが森が再生されつつあります。同時に私達の希少動物の保護を目指した植林活動への思いも現地の方とのふれあいの中で大きくなっています。様々な支援を活用し再生される森が希少動物の成長に必要な植物を育み、人々の暮らしとともに自然サイクルの中で希少動物が暮らせる森となるまで、現地の方とのコミュニケーションから私達の人としての力を高めながら、世界にひとつしかない「豊かなキナバタンガン川下流域の自然」保護への取り組みを進めていきます。

ＮＰＯのボードを前にムランキン･オイルパームプランテーションの職員と

トータルヘルスケアサービス ホロニクスグループ

ごあいさつ

NPO 法人 未来プロセス
理事長　谷 幸治

未来社会の発展には、「人々の健康保持」と「地球の環境保全」が大きな課題であります。高齢化社会を迎えるにあたり、健康の保持・増進、医療・福祉の重要性は弥増すものと考えられますが、そのためにも地球環境の破壊・汚染の防止が必要であり、両課題は密接に関連し、将来の人類福祉を左右する重要課題であると認識されます。

「特定非営利活動法人 未来プロセス」は、より良き未来社会の構築に向けて、この二大課題に役立つ非営利的活動を国際的視野で展開し、貢献することを目的として設立され、積極的に活動して参りました。

特に国内外の医療従事者に対する育成事業、医学・医療研究活動の助成ならびに国際学会の開催支援、市民に対する啓発活動、中国内蒙古地区の砂漠植林支援事業などに関しては、積極的・継続的に取り組み、成果を積み重ねて参りました。

2015 年度からは、新たに希少動物保護を目的とした国際的植林活動にも取り組み、マレーシアの NGO を支援するとともに、現地にて植林活動の研修を開催しました。

何卒「特定非営利活動法人 未来プロセス」の設立趣旨にご賛同いただき、その活動にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

２０１９年７月吉日

NPO 法人 未来プロセスは、発信力の強化に取り組みます。

NPO 法人未来プロセスでは、マレーシア植林活動をはじめ、地域での公開医学講座・健康フォーラムの開催による医療啓発、新たに取り組んでいる BOOK DRIVE for World Friends にグループ職員の皆さんから 119 冊の本をご寄付いただき CEO グループ 介護人材教育センター（ベトナム ハノイ市 / ホーチミン市）に設立した「ホロニクス文庫」に寄贈、3 月 25 日贈呈式を執り行いました。以降もみなさまより 400 冊を超えるご寄付をいただいており、これらの活動には、企業・団体・個人の皆様からの寄付や緑の募金箱を通じた皆様の善意など、多くのご支援を活用させていただいています。今後は私たちの様々な活動をヒューマンネットワークやパブリシティ展開を通じて幅広く社会にアピールすることで、希少動物保護を目指した植林活動、市民に向けた医療啓発を進めてまいります。

健康フォーラム

CEO グループ
介護人材教育センターでの贈呈式

私たちの活動は企業・団体様の支援に支えられています。

（掲載許可をいただいた企業・団体様のみ紹介）

▼賛助会員（2018 年度）

大塚製薬工場株式会社　様
株式会社　大和　様
ワタキューセイモア株式会社　様
株式会社　公益社　様
日本基準寝具株式会社　様
株式会社　馬場酸素　様
三笠製薬株式会社　様
田辺三菱製薬株式会社　様
鳥居薬品株式会社　様

▼一般寄附（2018 年度）

株式会社バースジャパン関西営業所　様
コヴィディエンジャパン株式会社　様
株式会社藤木工務店 京都支店　様
大浪電設株式会社　様
大阪熱学工業株式会社　様
株式会社ウイン・インターナショナル　様
株式会社藤木工務店 倉敷支店　様

（順不同）

LINEスタンプ第 2 弾 40 種 発売中!!

LINE スタンプになりました!

LINEスタンプの収益の一部がNPO法人未来プロセスへ寄付されます

LINE STOREで検索
オランくん

LINE STORE

会員募集中

私たちは医療の充実を図るためにさまざまな啓蒙活動を行っています。
この活動に賛同いただける会員様を募集しています。
お問い合わせは下記連絡先、NPO 未来プロセスまで。

会報誌発行元
特定非営利活動法人 未来プロセス　TEL：06-6312-7077　FAX：06-6312-3535
〒530−0047　大阪市北区西天満４丁目11番23号　満電ビル９階（3 階受付）　info@mirai-process.org

今年もHUTANの活動へ100万円を寄付しました

植林活動実績

2003年8月	中国内モンゴル地区クブチ砂漠にて第1回植林活動
2004年8月	中国内モンゴル地区クブチ砂漠にて第2回植林活動
2005年6月	中国内モンゴル地区クブチ砂漠にて第3回植林活動
2006年6月	中国内モンゴル地区クブチ砂漠にて第4回植林活動
2007年6月	中国内モンゴル地区クブチ砂漠にて第5回植林活動
2008年7月	中国内モンゴル地区クブチ砂漠にて第6回植林活動
2016年2月	京都大学 霊長類研究所にて NGO「HUTAN」に寄附
2017年6月	マレーシア サバ州にて第１回植林活動研修・寄附
2018年6月	マレーシア サバ州にて第２回植林活動研修・寄附
2019年6月	マレーシア サバ州にて第３回植林活動研修・寄附

自然環境の保護へ、明日から行動することから始めよう！

京都大学霊長類研究所
湯本 貴和 所長

はじめに募金を通して多くの善意を集め、毎年継続し資金面で援助することはとても大事な活動です。そしてそれが現地の保護活動を安定的に支える力となっています。そして今回の研修は無事終えたが、大事なのは明日から今回の体験をどのようにいかしていくか！アブラヤシのプランテーションから生み出されるパーム油は私達の周りの様々な製品に利用されている。意識して製品を使用することで、今回、ムランキン・オイルパームプランテーションで取り組まれている植物を利用した農薬の減量や植林による森の再生、希少動物の保護などが将来どのように私達の生活にリンクしていくのか、現地で直接学んだ体験をあなたの周りに伝えていくことが大切。まずは、みなさんの日常にある花や草木、昆虫、動物に興味を持つことから始めて自然保護に繋がる様々な事柄に興味を持ってほしい。これからも、この活動を支援していきたいと思っています。

プランテーションにて（撮影:湯本所長）

この活動は、「Study」「Research」「Volunteer」で構成されており、参加した職員の経験をグループの全職員で共有し、そして、広く社会に発信することで、希少動物の保護や環境保全に貢献していきます。

第３回 マレーシア植林活動研修　参加者の声

第3回マレーシア植林活動研修 団長
谷（たに） 淑子（よしこ）
特定非営利活動法人 未来プロセス
副理事長（第1回、第3回 団長）

まずは団長として、みなさんが無事に実りの多い研修を終えたことを嬉しく思います。また、第1回に植林した木は私の背丈と同じ高さになり、たくさんの花をつけていました。植林後のＨＵＴＡＮの植林チームのサポートに感謝するとともに、私達が植えた木が将来、希少動物が暮らす森を形作っていくことを確信できました。

山本（やまもと） 珠美（たまみ）
医療法人医誠会 医誠会病院
看護師

植林活動のボランティアへの参加という意識で参加したが、リサーチや地域振興、プランテーション企業の環境経営など、様々な活動が折り重なってボルネオ島での自然保護や希少動物保護活動が進められていることが分かりました。まずは職場、そしてその家族へと確実にこの体験を伝えていきます。

田平（たひら） 亜由美（あゆみ）
医療法人医誠会 医誠会病院
看護師

植林の意義を実感でき、すべての活動が楽しかったです。日本の豊かさを感じる一方で、植林を支えるＨＵＴＡＮの女性スタッフとムランキンの従業員向けクリニックでの、看護師のしっかりとした取り組みに心を打たれました。豊かさに頼るだけではなく、今回のような社会貢献活動を通して、職場でも自分の出来ることを見つめ直していきたいです。

山下（やました） 恭香（やすこ）
医療法人医誠会 児島中央病院
看護師

今回の参加で、グループの社会貢献活動について私の所属する児島中央病院でも関心を高めたいと思い参加しました。オランウータンのリサーチサイトでは、すぐ近くで観察することが出来ましたが、ストレスを感じている行動が見られました。観察される希少動物に負担をかけないために、希少動物についてもっと学びたいと感じました。

中里（なかざと） 理美（さとみ）
医療法人医誠会 十三医誠会クリニック
看護師

2年前、同僚がこの活動に参加し活動内容を聞くことから職場での募金を続けてきました。この活動は募金していただいた多くの善意に支えられています。ごみの分別や商品の選択など、今回の活動で学んだ視点を生活に取り入れ、今回の体験を周りに広めていくことでマレーシア植林活動研修への関心を高めていきたいです。

前田（まえだ） 翔吾（しょうご）
医療法人医誠会 医誠会病院
医療事務部

アウトドアが好きで山歩きへは頻繁に出掛けていますが、植林活動から振り返ってみると自分が持っている自然の知識がまだまだと実感しました（湯本先生の自然への多方面の実体験を伴う知識に圧倒されたという事もありますが…。）仕事の不得手な部分でも知識を高めたいという新たなモチベーションを持つことができました。

京砂（きょうすな） 依里子（えりこ）
医療法人医誠会 法人本部
財務経理部

小さい頃から動物が好きで、自然の中の動物の命にも触れたいと考えていました。植林活動は毎年の活動が積み重なって、希少動物が暮らす森が出来ると実感しています。これからもこの活動に参加した職員として、ＮＰＯ法人未来プロセスの植林活動を支えていきます。湯本先生からの学びも本当に楽しかったです。

高宗（たかむね） 卓子（たかこ）
特定非営利活動法人 未来プロセス
事務局

第3回植林活動研修への応募ありがとうございました。この活動を支えて下さる湯本先生、また現地の皆さんに直接お会いし御礼を伝え、一緒に活動でき大変うれしく思っています。ただ植林するだけではなく、現地での女性の社会進出・経済振興・教育啓発・企業の社会貢献など、人と地域の繋がりの中で時間をかけて育まれ、継続されていくこの活動をこれからも支えていきたいと思います。

中内（ちゅうない） 修三（しゅうぞう）
特定非営利活動法人 未来プロセス
副理事長（第1回、第3回 団長）

今回知り合うことができた、希少動物や多くの草花との共生を目指すムランキン・オイルパームプランテーションの皆さんを加え、ＮＧＯ「ＨＵＴＡＮ」の協力を得ながら現地でのネットワークは広がり続けています。人と人が向き合うことでの可能性の高まりを実感せざるを得ません。募金いただいた多くの皆様にも感謝申し上げます。